

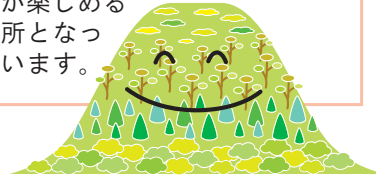


▲ビジターセンターから見える幻想的な風景

錦江町の知ってるようで知らないスポットを紹介します。
今回は、照葉樹の森編です。

照葉樹の森は、田代麓の久木野にあり大隅半島南部、稲尾岳、木場岳一帯に広がる西日本最大級の照葉樹林です。

カシ類・シイ類などの常緑広葉樹が原生の姿のまま残り、また生物や植物などの自然観察や登山などが楽しめる場所となっています。



● 登山コース

稲尾岳登山道があり、西口コース（3.3キロ、片道150分）と北口コース（2.0キロ、片道120分）の二つがあります。

西口コースは、途中で清流、自然石展望台、巨木樹の根株、モミ・アカガシの巨木群、岩テーブルなどが楽しめ、北口コースは、途中で清流、モミ・アカガシ・イスノキの巨木群、岩テーブルなどが楽しめます。

照葉樹原生林の中から視界が開ける自然石展望台などで雄大な景色に感動してみたいはいかがでしょうか。

また、登山道のほかにも自然観察道滝巡りコースや照葉樹林探勝道などもあり、どれも自然を満喫できるコースとなっています。



▲登山道入口付近の清流



▲温かい雰囲気ビジターセンター内

● 稲尾岳ビジターセンター

稲尾岳ビジターセンターには照葉樹の森の自然や生き物についての情報がたくさんあります。

上空から見た照葉樹の森の地形模型(1/2500)やイスノキ林(1/3)など、森の不思議を楽しく学べる施設となっています。

また、木製の置物や暖炉風のストーブなどもあり、あたたかい雰囲気が楽しめます。



イベント
盛りだくさん♪



稲尾岳ビジターセンターでは、毎月さまざまなイベントを開催しています。
毎月第2日曜日には月例登山会を開催しており、木場岳登山コースなどさまざまなコースを楽しむことができます。

また、クラフト教室や自然体験学習なども開催されており親子で楽しむこともできます。

詳しくは照葉樹の森ホームページでご覧いただけます。

<http://www.omega.ne.jp/shouyouju/>